

令和3年度第2回地方独立行政法人福岡市立病院機構評価委員会 議事録

日 時	令和3年8月2日(月) 13:15~14:00	
場 所	オンライン会議(事務局:福岡市役所 本庁舎3階北側会議室)	
出席者	委員	福岡市医師会 副会長 松浦 弘 独立行政法人国立病院機構 九州がんセンター 院長 藤 也 寸 志 九州大学大学院医学研究院 准教授 福田 治 久 福岡県看護協会 会長 大和 日美子 公認会計士 行正 晴 實
	事務局	福岡市保健福祉局健康医療部長、同医療事業課長
	病院機構	理事長、副理事長、運営本部長、法人運営課長、 福岡市立こども病院事務部長、同看護部長、同総務課長、同経営企画課長、同医事課長 福岡市民病院事務部長、同看護部長、同総務課長、同経営企画課長、同医事課長
次 第	1 開会 2 議事 (1) 令和2年度業務実績評価について (2) 第3期中期目標期間業務実績評価について 3 その他	
配付資料	資料1 地方独立行政法人福岡市立病院機構 令和2年度の業務実績に関する評価結果報告(案) 資料2 地方独立行政法人福岡市立病院機構 第3期中期目標期間における業務実績に関する評価結果報告(案)  参考資料1 地方独立行政法人福岡市立病院機構 業務実績評価の方針 参考資料2 地方独立行政法人福岡市立病院機構 年度業務実績評価実施要領 参考資料3 地方独立行政法人福岡市立病院機構 中期目標期間評価実施要領 参考資料4 地方独立行政法人福岡市立病院機構 令和2年度の業務実績に関する評価結果(案)まとめ 参考資料5 地方独立行政法人福岡市立病院機構 第3期中期目標期間業務実績に関する評価結果一覧 参考資料6 地方独立行政法人福岡市立病院機構の第3期中期目標期間の終了時に見込まれる中期目標期間における業務実績に関する評価結果報告	

## (1) 令和2年度業務実績評価について

### ○事務局

【資料1及び参考資料4について説明】

### ○委員長

令和2年度業務実績に対する市の評価案について、ご質問やご意見はございますか。

### ○委員

全体として評価に異論はございませんが、1点だけ、確認させていただきます。

資料1の8ページ目、大項目「第4」の評価結果の理由として、福岡市民病院が福岡市におけるコロナ対策の中核的な役割を果たしているとの記載がありますが、実際には県とも様々な調整をされており、福岡県の中でもかなり中核的な役割を果たされていたのではないかと思います。福岡市民病院がコロナ患者を福岡市以外の自治体からも受け入れているのであれば、この記載はあえて「福岡市」に限らず、例えば「福岡県」という表現にした方が、福岡市民病院の地域における貢献がより明らかになるのではないのでしょうか。実際の受入状況が福岡市中心であればこの表記でまったく問題ありませんが、他の自治体からの受入状況によっては、表記を福岡市に限定することにより過小評価されてしまうのではないかと危惧いたします。

他のページでも同様の表現がありますが、それぞれ「福岡市」という記述に留めてよいのか、ご検討いただきたいと思います。

### ○事務局

福岡市としましても、福岡市民病院には福岡都市圏を中心に、コロナ禍では大きな役割を担っていただいたという認識はございます。記載につきましては、どのような表現が適切か、ご意見を踏まえて改めて検討させていただきたいと思います。

### ○委員長

今回出された意見を市の評価に反映していただくようお願いして、議事(1)についての審議を終わらせていただきます。

## (2) 第3期中期目標期間業務実績評価について

### ○事務局

【資料2及び参考資料5について説明】

### ○委員長

第3期中期目標期間の病院機構の業務実績及び市の評価案について、ご質問やご意見はございますか。

## ○委員

全体を通しての評価については異論ございません。評価の基となる実績についてもきちんと記されていますし、評価の方法、また、その結果も妥当だと思います。

特に資料2、2ページの大項目「第4」については、年度評価が、平成29年度「A」、平成30年度「B」、令和元年度「B」、令和2年度「A」となっており、全体評価の判断が難しいところですが、これについて毎年の業務実績評価と同様に、4年間の評価点の平均を算出し、これが標準点に対し120%を超えていることから「A」という評価を行っており、しっかりした根拠を持って判断されていると思いますので、異論はございません。

その上で、あえてお願いしたい点がございます。これは、3ページの「今後、改善を期待する取組」に関してですが、既に様々な努力をされていることは十分承知の上で、問題提起として発言いたします。

市立病院の場合、運営費負担金として毎年かなりの額が収入として入ってきますが、それがなくても経常収支比率を100%にするというような、経営の効率化等の努力をしていく必要があるのではないかと思います。

経常収支比率を悪化させる要因として、人件費比率の高さがあります。これは、他の自治体病院で200床規模のものと比較すれば取り立てて高いわけではないのですが、やはり課題であると考えます。すぐに人員の削減を検討すべきだということではなく、あくまで、課題に対する問題意識を持っていたらという意味で申し上げます。

また、両病院とも、市立病院としての取組も、市民への情報発信もなさっていますが、市から運営費負担金が支出されているということを考えた場合、実績として挙がっている地域に対する貢献などの内容には、公的病院でなく、一般的な病院でも行っているような項目も多いと思うのです。

ですので、次の第4期では、福岡市立の病院であるという特徴をもっと出すことを考えながら活動し、さらにそれを市民に対して説明することに重点を置いていただければと思います。将来的な福岡市立病院機構のあり方を考える上で、より特徴のある実績を出していただきたいと思っております。

## ○委員

私も、この中期目標期間における評価結果を、2ページ記載のとおりとすることについて、賛成いたします。また、大項目「第4」の評価についても、検討の過程が合理的であり、適切だと思います。

また、先ほど申し上げた発言と重なる部分もありますが、7ページ目、「第3期中期目標期間の全体的な取組状況」の中段、福岡市民病院におけるコロナへの対応に関する記載についてです。ここでは、福岡市民病院が、福岡市におけるコロナ対策の中核的な役割を果たしたと記述されていますが、福岡県全体においても大きな役割を果たしていたのではないかと、あるいは今後そういう役割を期待されてもいいのではないかと考えましたので、「福岡県」という言葉を入れてはいかがかと考えております。実際の記載については事務局にお任せいたします。

## ○委員長

コロナ対応に関する表現については、事務局の方で検討していただくようにお願いします。

## ○委員

評価結果に関しましては、特に異論はございません。妥当な評価だと思います。

今後の評価についての参考意見として申し上げます。今回の評価結果では、プロセスを中心にまと

めた内容が多く、アウトカムやアウトプットといわれるデータが不足しており、評価対象期間のプロセスによってどのように結果が良くなったかということが見えにくい表記になっていると思います。

評価を行う際には、一般的にストラクチャー（構造、仕組み）やプロセス（過程、活動状況）、アウトプット（事業実施量）、アウトカム（結果）という観点がありますが、今回の評価のまとめ方自体が、プロセスに非常に偏っているような気がいたします。

例えば、33 ページ、クリニカルパスの改善を行ったという過程についての記載がありますが、クリニカルパスの使用率がこの期間にどの程度増えたのかは書かれていません。また、医療安全に関しても、アクシデント（レベル4）と言われる危険な事案がどの程度減少したのか等、具体的な数値が評価の指標として出されると、もっと客観的に良かったこと、改善できたことを分析できると思います。

患者満足度調査なども行われていますが、おそらく項目設定には日本医療機能評価機構等のものを参考になさっているかと思いますが、これをベンチマークとして他の医療機関の同じような項目と比較して、自院がどこが弱いのか等の客観的な評価に活用できるはずです。

取組の過程については様々記載がありますが、それを裏付けるためのデータが足りないと思います。クリニカルインディケーターをはじめとした結果についての数字をもっと出していただくと、業務実績評価としてより意義のあるものになると思います。

## ○事務局

取組の結果として、目標値が定まっているものについては数値で実績を示しております。また、それ以外でも各病院の特徴的な取組もデータ化しております。年度評価の際には業務実績の報告ということでまとまった形で出てきておりますが、今回のような4年間の総括では、期間を通してどう変わったかということは、継続的に行ったものだけでなく、単年度で特徴的に取り組んだものもございますので、最終年度にどのようにデータをまとめて見える化していくかについては、第4期の宿題として検討させていただきたいと思います。

## ○委員

福岡市立病院機構の「いのちを喜び、心でふれあい、すべての人を慈しむ病院を目指します。」という基本理念を具現化していくことが、最終的な評価基準になると思います。

## ○委員

評価結果について、異議はございません。この通りで問題ないと思います。

病院の場合は、キャパシティの関係上、病棟を増やすなどの量的な拡大で発展させていくことは、他の一般企業と比べて非常に難しいものと思われ、質的な面の充実によって発展を追求していくことになると思います。質的な面の充実とは何かと考えますと、3ページの「今後、改善を期待する取組」として記載されている「市立病院として求められる高度専門医療、救急医療、感染症医療等の医療体制の更なる充実」を図ることだと思いますので、次の中期目標期間における達成状況をできるだけ定量的に評価できるよう明確に示していただけるとなおります。

## ○委員長

今回出された意見を市の評価に反映していただくようお願いします。

また、3ページ、全体評価の中の「その他」に記載する意見、指摘等につきましては、私の方で責任をもって確認させていただきます。

評価の修正部分とあわせて、委員長一任とさせていただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

○各委員

(異議なし)

○委員長

それでは、委員長一任とさせていただき、議事(2)についての審議を終わらせていただきます。

(3) その他
---------

○事務局

【今後の手続き等について説明】

これをもちまして、本日の委員会は、終了させていただきます。